

研究実施のお知らせ

2021年7月30日 ver.1.0

2023年1月13日 ver2.0

研究課題名

卵管性不妊症に対する治療法に関する検討

研究の対象となる方

2017年4月から2021年12月の間に島根大学医学部附属病院で卵管性不妊症と診断され、不妊治療を受けられた方で妊娠の有無が判明している方

研究の目的・意義

女性側の不妊症の原因として卵管の問題は高頻度にみられます。卵管が狭窄したり閉塞したりすると、排卵した卵子が卵管内で精子と出会うことができず、妊娠することができません。

治療法としては、手術療法と生殖補助医療（体外受精）があります。手術療法は、問題がある卵管の部位で治療法が異なります。卵管周囲に癒着がある場合は癒着剥離術、卵管膨大部や卵管采部の病変に対しては卵管開口術を行います。また卵管鏡下卵管形成術を行い、狭窄部位を拡張する治療法もあります。手術療法が成功すれば自然に近いかたちでの妊娠を目指すことができますが、妊娠できるかどうか結果がでるまでに月日を費やしてしまいます。当科における卵管性不妊の治療成績を明らかにすることで、今後患者さんひとりひとりに適切な治療法を選択するための一助になる可能性があります。

研究の方法

当院で卵管性不妊症と診断され、妊娠の有無が判明している患者さんのカルテから診療内容（年齢、病歴、パートナーの年齢、ホルモン値、画像所見、精液検査値、手術成績(術式、手術時間、卵管通過の有無など)、体外受精の治療成績を調査いたします。この研究によって得られる個人情報、決して外部に漏れることないように責任をもって厳重に管理します。また、病院関係者にも漏れることないように管理いたします。研究に用いる診療情報、解析データは島根大学医学部産婦人科学講座において厳重に管理します。

研究の期間

2021年9月17日～2023年5月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部周産期母子医療センター 金崎春彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年4月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部産科婦人科学講座／附属病院周産期母子医療センター

金崎 春彦

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2268 FAX 0853-20-2264

研究事務局

島根大学医学部産科婦人科学講座

折出 亜希

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2268 FAX 0853-20-2264